



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	02	農業総務費	事業 1	053	01050102
事業 2	010	農政事務費	事業 3	001	農政事務費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農政に関する庶務的事項への対応のほか、都市農業振興計画推進委員会の実施、関係団体への負担金等の支出を行う。
- ・目 的 農業者及び関係団体と連携して都市農業振興計画等農業・農地のもたらす様々な恵みを生かしたまちづくりを進める。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 秦野市都市農業振興計画の進行管理等により、各施策等の適切な実施を図る。
- ・目 標 値 秦野市都市農業振興計画において各種目標値を設定している。

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業振興地域の整備に関する法律
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,161千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 1,404千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,651千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 都市農業振興計画の管理・評価のため、都市農業振興計画推進委員会を開催した。  
優良農産物等登録認証制度について協議するため、地産地消部会を開催した。
- ・令和6年度 都市農業振興計画の管理・評価のため、都市農業振興計画推進委員会を開催した。  
優良農産物等登録認証制度について協議するため、地産地消部会を開催した。  
秦野市農業委員会の任期満了による委員改選のため、秦野市農業委員会委員選考委員会を開催した。

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

都市農業振興計画に掲げる各施策の進捗状況は概ね計画通りである。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	02	農業総務費	事業 1	053	01050102
事業 2	010	農政事務費	事業 3	001	農政事務費

- ・都市農業振興計画の進捗状況の管理・評価のため、都市農業振興計画推進委員会を開催する。
- ・概ね5年ごとに見直しが必要である農業振興地域整備計画の次期見直しに係る基礎調査を委託業務により実施する。専門性の高い業者により基礎調査を実施することにより、効率的および適切な基礎調査を実施する。

## 6 要求額の増減理由・根拠[A]

### (1) 増減理由

- ・会計年度任用職員単価上昇に伴う会計年度任用職員の給与増加により報酬費の増。
- ・秦野市農業委員会委員選考委員会が終了したことによる減。
- ・都市農業振興計画の改定作業に伴い、報酬及び旅費の増。
- ・農業振興地域整備計画に係る基礎調査を委託業務で実施することによる増。
- ・県茶業振興協議会が足柄茶100周年記念事業を実施することによる負担金額の増。

### (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算 5,651千円、令和6年度予算 1,404千円、令和5年度決算 1,161千円、令和4年度決算 1,123千円

## 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

都市農業振興計画等の定期的な見直し等により地域の実情に合わせた施策を実施していく。

## 8 その他

### (1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

### (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

### (3) 自然災害対策への取組

該当なし

### (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	01050103
事業 2	010	農業経営基盤強化促進事業費	事業 3	001	農業経営基盤強化促進事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農業経営基盤強化に関することや農業振興地域整備計画について協議するため、附属機関である農政推進委員会を開催する。  
中核的農業者の農業経営基盤の強化を促進するため、認定農業者協議会が実施する基盤強化促進事業（農業機械等導入支援）に対し、支援を行う。
- ・目 的 本市農業を牽引する認定農業者等の農業経営基盤の強化と経営改善計画の達成に向けた支援を行う。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
8 働きがいも経済成長も  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 持続可能な都市農業の実現につながる。
- ・目 標 値 人・農地プランの中心経営体数：令和7年度までに113人（都市農業振興計画）

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業経営基盤強化促進法、農業振興地域の整備に関する法律
- ・計 画 総合計画、秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 6,867千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 11,055千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,224千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 農政推進委員会の開催、地域計画に係る協議の場の開催、認定農業者育成事業補助金
- ・令和6年度 農政推進委員会の開催、地域計画に係る協議の場の開催、認定農業者育成事業補助金

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・農業経営基盤強化に関することや農業振興地域整備計画について協議するため、附属機関である農政推進委員会の開催は必要である。
- ・認定農業者育成事業補助金については、高齢化や後継者不足による認定農業者等の担い手の減少を抑制するため、認定農業者の認定を受けることのメリットとして必要な施策である。

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	010	農業経営基盤強化促進事業費	事業3	001	農業経営基盤強化促進事業費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
- ・ 農政推進委員会の開催
  - ・ 認定農業者協議会が実施する事業に対し、引き続き支援を行う。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
- ・ 認定農業者育成事業の農業機械等導入支援事業の要望額の増。
  - ・ 茶業病害虫防除事業実施のため、負担金、補助及び交付金の増。
  - ・ 農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、地域での協議結果を踏まえた目標地図及び地域計画を策定が完了したことによる委託料の減。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- 認定農業者育成事業補助金 令和7年度予算 3,268千円(8件)、令和6年度予算 1,885千円(4件)  
令和5年度決算 1,952千円(7件)、令和4年度決算 845千円(3件)
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
- 都市農業振興計画及び農業振興地域整備計画の定期的な見直し等により地域の実情に合わせた施策を実施していく。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	020	都市農業活性化推進事業費	事業3	001	都市農業活性化推進事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 はだの都市農業支援センターの運営及び「農」のまちづくりを推進する団体に対し、支援を行う。
- ・目 的 はだの都市農業支援センターの運営による農業支援機能の一本化（ワンフロア化）を図る。地区の営農状況に応じた農業活性化を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 農業支援機能の一本化による農業を取り巻く諸問題への迅速な対応が可能となる。市民参画の促進により、多様な農地保全・地域営農活動が活発化し、「市民の力」による課題解決に向けた取り組みが推進される。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 2,047千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 4,533千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,494千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 はだの都市農業支援センター負担金及び「農」のまちづくり事業補助金の交付
- ・令和6年度 はだの都市農業支援センター負担金及び「農」のまちづくり事業補助金の交付、棚田表示看板の作成

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・多様化する農業者のニーズに応えるため、支援センターを構成している各機関の担当業務の一層の明確化と専門的な相談機能の拡充が必要
- ・「農」のまちづくり事業について、地域の中心的人材の育成・確保が必要

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	020	都市農業活性化推進事業費	事業3	001	都市農業活性化推進事業費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 はだの都市農業支援センター負担金、「農」のまちづくり事業補助金、地区営農推進協議会の開催
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由  
 棚田表示看板を作成しないことによる減  
 みどりの食料システム推進交付金（有機転換推進事業）を実施しないことによる減  
 車両の更新によるリース料の増加に伴うはだの都市農業支援センター負担金の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 令和7年度予算 4,494千円 令和6年度予算 4,533千円、令和5年度決算 2,047千円、令和4年度決算 2,085千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 ・各機関の業務内容を精査するとともに、農業者のニーズに十分な対応ができる体制づくりに努めていく。  
 ・地区営農推進協議を通して、地域でリーダー的な指導ができる農業者の発掘に努めていく。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	030	「農」の担い手育成支援事業費	事業3	001	「農」の担い手育成支援事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農業の多様な担い手の確保に向け、市民の農業参画を促進する研修事業を実施するとともに、新規就農者や担い手の育成指導、市民交流活動等を実施する先進農業者団体、若手の農業者団体に対して助成し、農業生産を担う者の確保・育成を図る。
- ・目 的 農業従事者の高齢化や後継者不足により農の担い手の減少が加速する中で、新たな担い手の確保・育成を図る。
- ・SDGs
  - 2 飢餓をゼロに
  - 3 すべての人に健康と福祉を
  - 8 働きがいも経済成長も
  - 15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 将来を担う新たな担い手の確保が図られる。
- ・目 標 値 新規就農者数：令和7年度までに114人(都市農業振興計画)

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 11,369千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 21,806千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 17,520千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 「はだの市民農業塾」を実施することにより、農業の多様な担い手の確保・育成を図るとともに、就農後は、県の普及指導担当や秦野市農業協同組合と連携し、巡回指導などを通じて営農支援を行った。  
また、新規就農者に対して、経営の安定及び営農環境整備に対する支援を実施した。
- ・令和6年度 令和5年度の取組を継続して実施した。

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

新規就農者数の令和7年度末の目標値114人に対し、「はだの市民農業塾」や国の制度を活用した経営開始当初の経済的な支

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	030	「農」の担い手育成支援事業費	事業3	001	「農」の担い手育成支援事業費

援を実施することにより、令和5年度末においては、113人（前年度から10人増）となっており、将来を担う新たな担い手の確保につながっている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

「はだの市民農業塾」や国の制度を活用した新規就農者への支援を、引き続き実施し、就農しやすい環境を整備するとともに、就農後の営農環境を向上を図るため、関係機関との連携し、技術面を含めたサポートができるよう、体制を充実させていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・新規就農者育成資金等の交付対象者数が減少したことによる減
- ・農業塾で使用する備品の購入品目が変わったことによる増
- ・農業後継者の研修受講経費の一部に補助金を交付することによる増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・新規就農者育成資金等交付対象者数      令和6年度予算 12件、令和5年度決算 7件、令和4年度決算 10件
- ・農業後継者確保対策事業補助金交付対象者数      令和6年度予算 0件、令和5年度決算 0件、令和4年度決算 0件

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

農業者人口が減少する中で、新たな担い手の確保・育成及び定着に対する支援は継続的に実施していく必要がある。また、新たな担い手については、就農後の営農状況の把握及び技術的な支援を通じて、経営の安定化を促す必要がある。

そのため、引き続き、就農への足掛かりとなる研修事業を実施するとともに、新規就農者や育成指導を行う農業者団体及び農業後継者への支援を実施していく。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	01050103
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	001	荒廃遊休農地等農地活用対策事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 荒廃・遊休地の解消整備に対し、農地整備費の一部を助成する。
- ・目 的 農地の荒廃・遊休化の防止を図る。
- ・SDGs 8 働きがいも経済成長も  
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 荒廃農地を解消し、農地利用の促進を図ることができる。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,796 千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 493 千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 502 千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 耕作放棄地を解消後に、担い手農家等への集積
- ・令和6年度 農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

後継者不足や農業従事者の高齢化等により耕作放棄地が増加し、営農環境の悪化及び効率的な農地利用が阻害される状況にあり、荒廃農地の解消・流動化を継続的に行う必要がある。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

- ・耕作放棄地を解消後に、担い手農家等へ集積
- ・農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討

6 要求額の増減理由・根拠 [A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	040	里地保全再生事業費	事業3	001	荒廃遊休農地等農地活用対策事業費

- (1) 増減理由  
郵送費の上昇による増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和7年度予算 502千円、令和6年度予算 493千円、令和5年度決算 1,796千円、令和4年度決算 1,724千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
・耕作放棄地を解消後に、担い手農家等への集積  
・農地現況調査の結果を活用した総合的な解消対策の検討
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	01050103
事業 2	040	里地保全再生事業費	事業 3	002	多面的機能支払事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 国庫補助事業を活用し、市から認定を受けた事業計画に基づき、農業者等が共同で取り組む農地維持活動、地域資源（農地、水路、農道等）を適切に保全管理するための共同活動及び農業用施設の長寿命化のための活動に対し、支援する。  
〔第4期間は令和4年度から令和8年度（第1期間：平成19年度から平成23年度、第2期間：平成24年度から平成28年度、第3期間：平成29年度から令和3年度）〕
- ・目 的 農業・農村が有する多面的機能（国土保全や水源かん養、景観形成等）の維持を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
13 気候変動に具体的な対策を  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 地域資源（農地、水路、農道等）の適切な保全管理
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
- ・計 画 秦野市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画  
秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 1,899 千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 2,061 千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 2,011 千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 農地維持活動、地域資源を適切に管理するための共同活動、農業用施設の長寿命化のための活動
- ・令和6年度 農地維持活動、地域資源を適切に管理するための共同活動、農業用施設の長寿命化のための活動

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

担い手の高齢化や耕作放棄地の増加等による集落営農及び景観保全の停滞

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	040	里地保全再生事業費	事業3	002	多面的機能支払事業費

- 5 令和6年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地維持活動、地域資源の質的向上を図る活動及び施設の長寿命化のための活動に係る支援を行う。  
 活動組織は「鶴巻の田園環境を育む会」で、平成19年度より多面的機能支払事業補助金を活用しており、令和4年度に再認定を行ったため、令和8年度まで活動予定。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]  
 (1) 増減理由  
 該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 令和7年度予算 2,011千円、令和6年度予算 2,061千円、令和5年度決算 1,899千円、令和4年度決算 1,935千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 補助金交付団体である「鶴巻の田園環境を育む会」では、非農家を含めた地域住民が一体となって農地や農道等を整備するとともに、農業・農村が有する多面的機能の保全・維持管理を自主的に自立して実施している。今後も良好な環境の保全活動を継続していくために、国・県補助金を有効に活用し、事業を継続して実施していく必要がある。
- 8 その他  
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	050	鳥獣対策事業費	事業3	001	鳥獣保護管理対策事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル等の大型獣やハクビシン・アライグマ等の中型獣、カラス等の鳥類などによる被害対策として、銃器やわなによる捕獲、各種防護柵の設置支援による防除及び獣の潜み場を無くすための環境整備を地域ぐるみで実施し、農林業被害及び生活被害の軽減を図る。
- ・目 的 鳥獣による生活被害・農林業被害を防ぐとともに、特定外来生物による生態系に対する被害の軽減及び生物多様性の確保を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 鳥獣からの農作物被害を防ぐことにより、営農意欲の増進と農業生産の安定が図られる。
- ・目標値 農作物年間被害面積（「秦野市鳥獣被害防止計画」（令和6年度～令和8年度）による）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律  
鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
- ・計 画 秦野市鳥獣被害防止計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 22,290千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 16,456千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 13,170千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 銃器駆除に対する補助、地域防護柵の設置補助、広域獣害防護柵の定期点検・補修、ドローンを活用した重点対策事業の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化
- ・令和6年度 銃器駆除に対する補助、地域防護柵の設置補助、広域獣害防護柵の定期点検、広域獣害防護柵全体補修委託業務、ドローンを活用した重点対策事業の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・猟友会の高齢化や会員数の減少による捕獲量の減少及び荒廃農地の増加
- ・県及び近隣市町との連携の他、猟友会並びに農業者や秦野市農業協同組合と協働して鳥獣被害対策を実施しているが、引き続き、関係機関と協働した被害対策を推進する必要がある

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	050	鳥獣対策事業費	事業3	001	鳥獣保護管理対策事業費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 防護柵の設置及び更新に対し補助を実施、銃器駆除の補助、広域獣害防護柵の定期点検、ドローンを活用した重点対策事業の実施、広域獣害防護柵全体補修委託業務の実施、ニホンジカ等の管理捕獲、ニホンザルの管理捕獲・追い払い・監視強化
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]  
 (1) 増減理由  
     焼却費の頭数見直しによる減  
     くくりわな購入数の見直しによる減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
     該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
     ・銃器駆除に対する秦野市農業協同組合への支援  
     ・防護柵の設置補助による防除支援  
     ・広域獣害防護柵の定期点検及び全体補修委託業務による獣の侵入防止機能の維持  
     ・秦野市鳥獣被害対策実施隊が実施する銃器捕獲による捕獲圧の継続  
     ・ニホンジカ等の管理捕獲の実施  
     ・ニホンザル対策を引き続き実施し、被害の未然防止及び新たな群れの侵入を防止する予防的対策の実施  
     ・ドローンの活用による地域ぐるみの鳥獣被害対策（出没抑制のためのやぶ払いや果樹の伐採等の環境整備）の実施（過去の実施地域の隣接地等を選定し面的に実施）
- 8 その他  
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
     該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
     ・予算計上額（うち一般財源） 54千円（54千円）  
     ・内 容 ドローンによる自動撮影を行い、そのデータ等を用いた被害対策地図を作成し、地域住民との鳥獣被害対策勉強会で使用することで、地域の実情に合った被害対策を検討するとともに、市民の鳥獣被害対策に対する意識等を底上げし、獣害に強いまちづくりを推進する。
- (3) 自然災害対策への取組  
     該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
     該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	01050103
事業 2	050	鳥獣対策事業費	事業 3	002	ヤマビル被害防止対策事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 地域住民等が主体となったヤマビル生息域の草刈、落葉かき等の環境整備を進める。
- ・目 的 農林業者、登山者及びハイカー等のヤマビル吸血被害の防止及び生息密度の低減を図る。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 農林業者、登山者及びハイカー等のヤマビル吸血被害の防止及び生息密度の低減を図る。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,282千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 1,500千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 1,584千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 環境整備活動支援の実施
- ・令和6年度 環境整備活動支援の実施

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

- ・「画期的な駆除方法がない」という状況の中、農業者等市民の協力を得て、環境整備活動を継続し、生息地域や生息密度の抑制に努めていく必要がある。
- ・観光事業への影響もあるため、鳥獣の対策と合わせた積極的な対策を講ずる必要がある。
- ・年々広域的に出没が確認されているため、広域的な環境整備をする必要がある。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

21団体による各年2回の環境整備活動を実施

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	050	鳥獣対策事業費	事業3	002	ヤマビル被害防止対策事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

環境整備活動を行う団体数の増加、生息調査回数の増加に伴う増

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算21団体：1,472千円、令和6年度予算19団体：1,416千円

令和5年度決算17団体：1,233千円、令和4年度決算17団体：1,261千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

ヤマビルの生息域の追跡調査や被害拡大要因の分析及び環境負荷の少ない忌避剤や駆除薬剤に関する情報の収集等と並行して、引き続き地域主体による草刈りなどの環境整備活動を支援することで、ヤマビルの生息域・被害の拡大を防止する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	060	農業振興資金等利子補給金	事業3	001	農業振興資金等利子補給金

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 各種農業資金の利子負担を軽減するため補給金を交付する。
- ・目 的 利子負担を軽減することで経営の合理化及び近代化を図り、農業経営の安定化に資することを目的とする。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 利子負担の軽減により、農業機械の導入による合理化や農業施設の近代化が図られる。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 157千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 196千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 256千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 秦野市農業協同組合の協力を得て、農業者への周知を図っている。
- ・令和6年度 令和5年度の取組を継続して実施した。

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

当初融資額又は融資後の経過年数によっては補給額が少額になり、その場合は農業者に対する利点は少ない。しかし、中核的農業者のみに限らず、広く様々な農業者に長期かつ低利の融資促進をしていくための効果がある。

### 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

引き続き秦野市農業協同組合の協力を得て、農業者への事業の周知を図る。

### 6 要求額の増減理由・根拠[A]

#### (1) 増減理由

- ・令和5年度の実績及び令和6年度の新規補助対象者数を考慮した増

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	060	農業振興資金等利子補給金	事業3	001	農業振興資金等利子補給金

・新型コロナウイルス関連融資資金利子補給金については、新規で利子補給金交付対象者が発生することによる増

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 件数・金額 令和6年度予算 86件・196千円、令和5年度決算 72件・157千円、令和4年度決算 63件・162千円  
 令和3年度決算 61件・162千円、令和2年度決算 55件・162千円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 認定農業者等の中核的農業者のほか、兼業農家や定年帰農者等の営農により農業の維持及び農地保全等が図られており、  
 広く農業者に長期かつ低利の資金の融資を活用することにより、経営の合理化が図られるため、継続して支援する。

- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
  - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
  - (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
  - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業 1	054	01050103
事業 2	070	農産物品評会事業交付金	事業 3	001	農産物品評会事業交付金

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農産物の栽培技術の向上と優良品種の普及拡大を図るため、秦野市農産物品評会実行委員会が実施する農産物品評会を支援する。優良農産物の紹介や、農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進に繋げ、農業振興に寄与する。
- ・目 的 優良農産物の紹介や、農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進に繋げ、農業振興に寄与する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
8 働きがいも経済成長も  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 農業者の生産意欲の向上、市民の農業理解の促進
- ・目 標 値 出品点数 400点（令和7年度）

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 500千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 500千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 500千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 第59回秦野市農産物品評会を実施。（優秀賞20点、優良賞30点、佳良賞30点）
- ・令和6年度 第60回秦野市農産物品評会を実施。（優秀賞20点、優良賞30点、佳良賞30点）

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

出品点数が減少傾向にあるため、事業の周知強化に取り組んでいる。

### 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

引き続き、農産物品評会を実施するとともに収穫時期等を捉えた効率的な周知を図る。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	070	農産物品評会事業交付金	事業3	001	農産物品評会事業交付金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由  
該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

農産物の栽培技術の向上と優良品種の普及及び消費の拡大を目指し、市民の農業に対する理解を一層深めるとともに、「安全」で「安心」な地元の優良農産物を紹介することや日ごろの成果を披露する場でもあることから、農家の生産意欲の向上に繋がるため、継続して実施することが必要である。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	080	田原ふるさと公園管理運営費	事業3	001	田原ふるさと公園管理運営費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 地域農業の拠点施設である田原ふるさと公園を適切に管理する。
- ・目 的 都市住民と地域住民との交流を促進し、地域農業の活性化を図るとともに、市民の憩いの場を提供する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
8 働きがいも経済成長も  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 公園施設の活用により、地域住民等の交流の促進及び地域の活性化が図られる。
- ・目 標 値 施設の稼働日数 年間310日以上

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 17,190千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 14,531千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 10,976千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）：

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 公園の管理及び施設の運営方法について庁内検討
- ・令和6年度 公園の管理及び施設の運営方法について運営団体と協議

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

施設で行う地場農産物等の販売やそば事業により地元農業振興に寄与している。また、休館日を含め、地域住民の交流の場として活用されており、地域の拠点施設としての役割を果たしている。  
建築後20年以上経過しているため、老朽化した施設、設備の改修を進める必要がある。

### 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

施設を適切に管理するとともに、集客の増加や交流創出に向け、運営団体との協議を進め、魅力向上に向けた取組を検討していく。

### 6 要求額の増減理由・根拠 [A]

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	080	田原ふるさと公園管理運営費	事業3	001	田原ふるさと公園管理運営費

(1) 増減理由

施設の老朽化や12条点検の是正箇所への対応により修繕料が増額 (+529千円)、また、最低賃金の引上げによる施設管理経費の増や3年以内毎に実施する建築物の点検経費の増により、委託料が増額 (+317千円) したものの、令和6年度に計上した工事の完了に伴い、工事請負費が減額 (△3,962千円) となったため、事業費全体では減額となった。

(2) 根拠 (定量データ (過去3か年程度の実績 (申請 (交付) 件数) ) 等)

工事請負費 令和6年度予算 4,716千円、令和5年度決算 7,506千円、令和4年度決算 16,788千円  
 ※令和4年度決算には、繰越分16,185千円を含む。

7 今後の取組方針 (事業の必要性、方向性・改善方法) [A]

田原ふるさと公園は、東地区の地域交流の場として役割を果たしており、また、表丹沢魅力づくり構想において地域の拠点として位置づけられていることから、継続して適切に管理していく。  
 また、運営団体と協議し、魅力向上に向けた取組を検討していく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組 (歳入確保・歳出削減)

該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	090	経営所得安定対策事業補助金	事業3	001	経営所得安定対策事業補助金

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農業経営の安定化を図るため、国の経営所得安定対策等実施要綱に基づき畑作、水田活用等の直接支払交付金に係る申請受付事務等を行う。
- ・目 的 農業者の経営の安定を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 農業者の経営の安定が図られる。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 経営所得安定対策等実施要綱
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 150千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 175千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 224千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) :

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 畑作、水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施
- ・令和6年度 畑作、水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

国交付金の申請に係る農業者の負担を軽減するとともに、交付金により、農業者の経営の安定に寄与した。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

畑作、水田活用等の直接支払交付金の申請受付事務等を実施する。

### 6 要求額の増減理由・根拠 [A]

#### (1) 増減理由

神奈川県最低賃金の引上げ及び現地調査に必要なブルーマップの購入により、増額となった。

#### (2) 根拠 (定量データ (過去3か年程度の実績 (申請 (交付) 件数) ) 等)

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	090	経営所得安定対策事業補助金	事業3	001	経営所得安定対策事業補助金

令和6年度決算見込み 175千円、令和5年度決算 150千円、令和4年度決算 191千円、令和3年度決算 150千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

経営所得安定対策等推進事業に基づく交付金は、国から直接農家に交付されるものであることから、制度について対象者に広く周知し、活用を推進していく。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	100	観光農業推進事業費	事業3	001	観光農業推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 本市の立地特性を生かした農業振興を図るため、観光農園開設に係る経費を支援することで開設を目指す農業者等の参入を促し、市内観光農園の充実に取り組む。
- ・目 的 観光農業及び食育の推進並びに地域の活性化
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
4 質の高い教育をみんなに  
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市内観光農園の充実による観光農業及び食育の推進と地域の活性化
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費(進捗率) : 522千円
- ・令和6年度予算 事業費(進捗率) : 380千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 212千円
- ・令和8年度以降 事業費(進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 丹沢秦野農園ハイク、東地区農園ハイクの実施。観光農園開設者へ経費の一部を支援  
市民提案型協働事業による団体への支援
- ・令和6年度 丹沢秦野農園ハイク、東地区農園ハイクの実施。観光農園開設者へ経費の一部を支援

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

農園ハイクについては、継続的な実施によって、来客数を増やしていく必要がある。体験型観光農園の推進を図るため、ブルーベリー狩り、イチゴ狩り、サツマイモや落花生掘り取りなど観光農園のPR及び観光農園の開設希望者を支援していく必要がある。

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	03	農業振興費	事業1	054	01050103
事業2	100	観光農業推進事業費	事業3	001	観光農業推進事業費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 観光農園開設スタートアップ支援補助金による支援の実施
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]  
 (1) 増減理由  
 観光農業推進事業費補助金の減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 令和7年度予算 212千円、令和6年度予算 380千円、令和5年度決算 522千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 各地区での農園ハイクの実施及び観光農園開設に向けた支援を行うことで本市の観光農業を推進する。
- 8 その他  
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	010	地産地消支援事業費	事業3	001	地産地消推進事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 地産地消を推進する団体への補助、はだの産農産物応援サポーター店を活用した地産地消の実施、地産地消月間の実施及び消費者、商業、観光、食育・健康、学校関係者が一体となった地場産農産物の消費拡大、ジビエ利用普及促進事業の実施。
- ・目 的 消費者からの地場産農産物における信頼確保及び地場農産物の消費拡大、市内で捕獲されたニホンジカやイノシシを利活用した「秦野ジビエ」の普及促進を図るため、市内外にSNS等を活用して情報発信をするとともに、一般社団法人日本ジビエ振興協会を通じて、全国の先例事例を取り入れながら「秦野ジビエ」のブランド化を推進する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
4 質の高い教育をみんなに  
12 つくる責任つかう責任  
15 陸の豊かさを守ろう  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 安全・安心な農産物の安定供給を図るとともに、秦野産農産物を使用した農家レストランをPRすることで、地産地消の推進が図られる。また、市民へジビエ料理の体験機会を提供することで、ジビエ利用の普及促進を図ることができる。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,228千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 2,432千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,293千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 サポーター店の活用や「秦野ジビエ」ののぼり旗やステッカーを刷新し、地産地消の推進をした
- ・令和6年度 サポーター店の活用や「秦野ジビエ」ののぼり旗やステッカーを刷新し、地産地消の推進をする

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	010	地産地消支援事業費	事業3	001	地産地消推進事業費

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]  
 ・はだの産農産物応援サポーター店（飲食店）の地場農産物の利用促進と利用状況の周知が求められている
- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 ・はだの産農産物応援サポーター店の活用や地産地消PRイベント等の実施による地産地消の推進  
 ・ジビエ利用普及促進事業の実施
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]  
 (1) 増減理由  
 ・報償費の見直しによる増  
 ・処理施設への搬入回数通信運搬費の増  
 ・ジビエ処理施設搬入数の増加による委託料の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 ・はだの産農産物応援サポーター店の活用や地産地消PRイベント等の実施による地産地消の推進  
 ・「秦野ジビエ」の普及促進  
 ・秦野市認定農家レストランの整備推進
- 8 その他  
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	01050104
事業 2	010	地産地消支援事業費	事業 3	002	農産物ブランド化推進事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野優良農産物等登録認証制度の運営による優良農産物等の差別化  
市の新たな特産農産物（ブランド化）の育成に対する支援
- ・目 的 安心・安全で、高品質な農産物の安定供給及び地場農産物への消費者の信頼確保を図り、環境・経営両面からの持続可能な農業経営を確立する。  
新たな特産農産物（ブランド化）の創出を図るため、生産者に対し支援する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
12 つくる責任つかう責任  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 優良農産物等登録認証の取得  
新たな特産農産物の生産
- ・目 標 値 優良農産物等登録認証件数：12件（令和7年度末時点）

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 349千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 407千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 281千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容 [D]

- ・令和5年度 地産地消推進部会の運営及び認証作物の更新審査  
葉ニンニク・豚肉の新規認証  
優良農産物認証マークの改定
- ・令和6年度 地産地消推進部会の運営及び認証作物の更新審査  
新規認証作物に対する支援

# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	010	地産地消支援事業費	事業3	002	農産物ブランド化推進事業費

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]  
 優良農産物等登録認証制度によるブランド化の推進を図るため、認証農産物を拡大をしていく必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
 地産地消推進部会の運営及び新規認証作物の審査  
 新たな農産物の認証に対する支援

6 要求額の増減理由・根拠[A]  
 (1) 増減理由  
 第三者認証を備えたGAPの更新費用の一部補助の減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 GAP取得支援事業補助金  
 令和7年度予算 なし、令和6年度予算 なし、令和5年度決算 47千円、令和4年度決算 なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 安全・安心で高品質な秦野産農産物を消費者にわかりやすく提示するとともに、農産物の適正価格化及び高付加価値化を図り、秦野産農産物の生産力強化支援に係る取り組みとして、継続して実施していく必要がある。

8 その他  
 (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし

(3) 自然災害対策への取組  
 該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	01050104
事業 2	020	秦野落花生生産支援事業費	事業 3	001	秦野落花生生産支援事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGs の該当目標

- ・内 容 秦野市農業協同組合への出荷者（生産者）、新規就農者（はだの市民農業塾）及び落花生生産者組織（秦野市農業協同組合出荷者除く）に対し、生産資材等に係る費用を補助する。
- ・目 的 本市を代表する特産農産物である落花生の生産拡大、栽培技術及び品質の向上を促進する。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 落花生の生産拡大、栽培技術及び品質の向上が図られる。
- ・目 標 値 落花生の作付面積 1,950 a（令和 7 年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和 5 年度決算 事業費（進捗率） : 6,611 千円
- ・令和 6 年度予算 事業費（進捗率） : 6,892 千円
- ・令和 7 年度予算 事業費（進捗率） : 6,352 千円
- ・令和 8 年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和 5 年度・令和 6 年度の取組内容 [D]

- ・令和 5 年度 落花生の補助金制度周知のため、秦野市農業協同組合の広報紙等を利用し、補助金制度の周知を図った。
- ・令和 6 年度 落花生の補助金制度周知のため、秦野市農業協同組合の広報紙等を利用し、補助金制度の周知を図った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

落花生の収益性が他の作物と比べ低いことから、今後も作付面積の維持・拡大を図るためには生産資材等への補助が必要である。さらに、今後は労働力の確保又は省力化の効果的な方法について検討を進める必要がある。

5 令和 7 年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

補助事業の周知時期や方法を工夫し、新規の生産者を確保する。  
 援農ボランティア制度の活用を促していくとともに落花生に特化したボランティアの育成を図ることで、労働力の確保に努める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	020	秦野落花生生産支援事業費	事業3	001	秦野落花生生産支援事業費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

予算の積算方法を見直したことによる減

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算 6,352千円、令和6年度予算 6,892千円、令和5年度決算 6,611千円、令和4年度決算 6,528千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・補助事業の周知時期や方法を工夫し、新規の生産者の確保を図る。
- ・援農ボランティア制度の活用等労働力の確保を図る。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	030	乳用子牛育成預託事業補助金	事業3	001	乳用子牛育成預託事業補助金

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 育成環境に恵まれた牧場に預託するための経費の一部（90円／日以内）を助成する。
- ・目 的 酪農経営の規模拡大が困難な状況の中で、産乳性の高い乳牛子牛を育成する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
8 働きがいも経済成長も  
12 つくる責任つかう責任

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 産乳性の向上及び経営の効率化により畜産経営の安定化が図られる。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 2,250千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 2,250千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 2,250千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 預託日数40,169日×補助単価56.01円
- ・令和6年度 預託日数25,000日×補助単価90.00円

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

乳産性の向上及び経営の効率化のため、市内酪農家の乳牛が一年間（平均）に25,000日近く北海道の牧場に預託されている一方で、後継者不足及び高齢化による酪農家の離農が進んでいる。また、飼料価格高騰などにより、畜産経営が厳しい現状もあり、畜産農家の支援が求められている。

### 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

引き続き預託事業に対して補助することにより、乳産性の向上及び経営の効率化並びに畜産経営の安定化を図っていく。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	030	乳用子牛育成預託事業補助金	事業3	001	乳用子牛育成預託事業補助金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由  
該当なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和7年度予算 2,250千円、令和6年度予算 2,250千円、令和5年度決算 2,250千円（申請農家10件）、  
令和4年度決算 2,250千円（申請農家10件）、令和3年度決算 2,250千円（申請農家12件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

畜産価格の低迷及び飼料の高騰により畜産経営が悪化する中、経営の安定化を図るため、引き続き補助を行う。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし

(3) 自然災害対策への取組  
該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	040	畜産まつり（畜産共進会）事業交付金	事業3	001	畜産まつり（畜産共進会）事業交付金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野市畜産会が実施する秦野市畜産まつり及び畜産共進会事業に対し交付金を支出する。
- ・目 的 家畜等の改良促進、生産技術の向上及び市民等の本市畜産業に対する理解増進を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効 果 家畜等の改良促進及び生産技術の向上効果及び市民等の本市畜産業に対する理解増進のための機会の創出。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 96千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 300千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 300千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容[D]

- ・令和5年度 事業規模を縮小し、JAはだの農業まつりにおいて搾乳体験・動物ふれあい体験等を実施。
- ・令和6年度 じばさんずや市民の日に出展し、牛乳の無料配布や卵の販売、畜産のPR用パネルの展示を実施。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

畜産農家の減少により、例年通りの事業規模での開催が難しくなっているため、事業規模を縮小し、市民の日等のイベントに出展するなどの対応が必要。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

畜産農家の状況を踏まえて、内容を検討・実施していく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	040	畜産まつり（畜産共進会）事業交付金	事業3	001	畜産まつり（畜産共進会）事業交付金

- (1) 増減理由  
該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和7年度予算 300千円、令和6年度予算 300千円、令和5年度決算 96千円、令和4年度決算 0円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
畜産まつり及び畜産共進会に替わる畜産振興イベントについては、市民が畜産にふれる機会及び畜産に対する市民の理解の醸成を図るために必要であるが、畜産農家の減少等、状況を踏まえて検討・実施する。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	050	畜産活性化支援事業補助金	事業3	001	畜産活性化支援事業補助金

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 食の安全確保及び家畜伝染病の発生防止に向けた家畜の防疫、衛生対策を総合的に講じ、畜産業の活性化と消費者ニーズに基づく畜産物の安全確保を図るための取組みに対し補助する。
- ・目 的 後継家畜の育成及び法定伝染病等家畜由来疾病の発生予防
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効 果 畜産経営の安定化及び畜産物に係る食の安全安心の確保
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 : \_\_\_\_\_
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 1,300千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 1,300千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 1,300千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : \_\_\_\_\_千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 優良血統家畜の導入、受精卵購入による優良家畜の育成及びCSF (豚熱) を含むワクチン予防接種にかかる費用の一部を補助
- ・令和6年度 優良血統家畜の導入、受精卵購入による優良家畜の育成及びCSF (豚熱) を含むワクチン予防接種にかかる費用の一部を補助

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

優良素畜の導入には多額の費用を要することから、事業費に対する補助率は低いが、申請団体及び農協からの強い要望がある。また、CSF (豚熱) に関するワクチン予防接種推奨地域の該当になっており、終息時期が予測できないため、現状を維持する。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	050	畜産活性化支援事業補助金	事業3	001	畜産活性化支援事業補助金

- ・優良血統家畜の導入や受精卵購入による優良家畜の育成に対する補助
- ・全国的に感染が拡大しているCSF（豚熱）を含め、本市における未然の発生防止を図るため、畜産農家が実施するワクチン接種費用の一部を補助

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由  
増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和7年度予算 1,300千円、令和6年度予算 1,300千円、令和5年度決算 1,300千円（申請農家15件）、  
令和4年度決算 1,300千円（申請農家19件）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

畜産価格の低迷及び飼料の高騰により畜産経営が悪化する中、経営の安定化を図るため、引き続き補助を行う。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし

(3) 自然災害対策への取組  
該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業1	055	01050104
事業2	060	畜産環境衛生対策事業費	事業3	001	畜産環境衛生対策事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 都市化の進展や法改正による家畜伝染病予防への対策強化など、畜産経営を取り巻く環境が厳しくなる中、本市の重要産業である畜産業の振興を図るため、畜産農家が実施する臭気対策及び衛生対策に対し、支援する。
- ・目 的 畜産農家が実施する臭気対策及び畜舎等の衛生対策への取組を支援し、良好な経営環境を確保する。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 周辺生活環境の保全と畜産経営環境の維持が図られる。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 551千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 844千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 978千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 畜産経営の維持のため、畜産農家が実施する臭気対策等への取組みに対し、一部を補助した。また、家畜伝染病の発生の予防をするため、畜産農家が実施する衛生対策への取組みの一部を補助した。
- ・令和6年度 畜産経営の維持のため、畜産農家が実施する臭気対策等への取組みに対し、一部を補助した。また、家畜伝染病の発生の予防をするため、畜産農家が実施する衛生対策への取組みの一部を補助した。

### 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

衛生対策については、都市近郊型の畜産業を営む農家にとって、ハエ対策をすること及び伝染病の発生を未然に防ぐことが課題であり、これを支援していく必要がある。

臭気については、臭いを解消することは困難であるが畜産農家の臭気対策を促進する必要がある。

臭気測定については、定量的で客観的データとなる臭気測定は継続するが、臭気状況に応じて適切な回数等を検討する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 12 日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	04	園芸畜産業費	事業 1	055	01050104
事業 2	060	畜産環境衛生対策事業費	事業 3	001	畜産環境衛生対策事業費

- 5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]  
衛生及び臭気対策については、畜産農家の取組内容を踏まえた支援としていく。  
臭気測定については、測定結果（臭気指数）等を踏まえ継続的に実施する。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]  
(1) 増減理由  
臭気用簡易測定器のセンサーユニットの交換部品の高騰による修繕費の増  
臭気測定に係る設計単価の増加による委託料の増
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
臭気測定 令和6年度 臭気指数測定の実施  
令和5年度 臭気指数測定の実施  
令和4年度 臭気指数測定の実施  
令和3年度 臭気指数測定の実施
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
衛生対策については、市内における疫病による患畜を抑制するため、畜産農家の減少による事業費の縮小との整合性を図りながら事業を実施していく。  
臭気対策への支援及び臭気測定については、畜産農家の取組状況及び臭気状況を踏まえて実施していく。
- 8 その他  
(1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし  
(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし  
(3) 自然災害対策への取組  
該当なし  
(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	014040000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	010	用水路補修事業費	事業3	001	用水路補修事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 補助対象とならない用排水路の小規模な整備や維持補修を実施するもの
- ・目 的 利水及び排水条件の維持とその施設等の維持管理負担の軽減
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 安定した生産力の向上
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 5,032千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 5,370千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,370千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 用排水路補修工事 L=66m
- ・令和6年度 用排水路補修工事 L=43m

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

具体的な全体計画、年間の事業量、工事の優先順位を明確にして、計画的に事業推進する必要がある。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

東田原前原用水路補修工事 L=43m 他突発的な要望に対処していく。

### 6 要求額の増減理由・根拠 [A]

- #### (1) 増減理由
- 増減なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	010	用水路補修事業費	事業3	001	用水路補修事業費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
 令和7年度予算 5件、令和6年度予算 5件、令和5年度決算 6件、令和4年度決算 8件

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
 工事の優先順位を明確にして長期的な全体計画を樹立する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
 該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
 該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
 該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
 該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	020	農道補修事業費	事業3	001	農道補修事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 補助対象とならない農道の小規模な整備や維持補修を実施するもの
- ・目 的 施設等の維持管理負担の軽減とともに農道整備によって積極的な農業の機械化と生産力の向上を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 農道整備によって積極的な農業の機械化と生産力の向上を図る。
- ・目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 6,353千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 6,518千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 6,518千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容 [D]

- ・令和5年度 農道補修工事 L=151m
- ・令和6年度 農道補修工事 L=75m

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

具体的な全体計画、年間の事業量、工事の優先順位を明確にして、計画的に事業を推進する必要がある。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

- ・西田原本堂農道補修工事 L=20m
- ・東田原中田農道補修工事 L=30m
- ・柳川堀ノ内農道補修工事 L=20m

### 6 要求額の増減理由・根拠 [A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	020	農道補修事業費	事業3	001	農道補修事業費

- (1) 増減理由  
増減なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和7年度予算 8件、令和6年度予算 8件、令和5年度決算 6件
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
工事の優先順位を明確にして長期的な全体計画を樹立する。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



# 令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	030	農とみどりの整備事業費	事業3	001	農とみどりの整備事業費

## 事業の概要

### 1 事業概要 [P]

#### (1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 幅員が狭小な農道の拡幅改良等、小規模な農道等の整備を実施する。
- ・目 的 農業労働負担の軽減による合理的営農を目指す
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
15 陸の豊かさを守ろう

#### (2) 効果・目標値

- ・効 果 積極的な農業の機械化とともにその生産力の向上を図ることで、緑豊かな潤いのある農業環境の創出につながる。
- ・目 標 値 農とみどり整備事業の計画より、農道整備延長L=110mに設定

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 神奈川県市町村事業推進交付金交付要綱
- ・計 画 秦野市都市農業振興計画

### 2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 23,653千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 26,345千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 26,656千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

### 3 令和5年度・令和6年度 of 取組内容 [D]

- ・令和5年度 農道整備 L=210m
- ・令和6年度 農道整備 L=110m

### 4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

農業経営の合理化を図り、積極的な農地利用と荒廃農地の解消につなげる必要から、生産基盤として不可欠な農道整備等を実施するため、各地域における要望等を精査し、その必要性並びに緊急性を考察するとともに、実施事業対象については、県の補助事業を活用するものとする。

### 5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

- ・柳川地区農道整備工事 L=30m

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	030	農とみどりの整備事業費	事業3	001	農とみどりの整備事業費

・菩提地区農道測量委託業務 L=350m

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・新規の畦畔協議資料作成に伴う測量委託により、委託料の増額
- ・令和6年度農とみどりの整備事業として、神奈川県に承認された事業内容に基づき積み上げた事業費を精査した結果、工事請負費が減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度予算 26,656千円、令和6年度予算 26,345千円、令和5年度決算 23,653千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

工事の優先順位を明確にして長期的な全体計画を樹立する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	040	鶴巻排水機場維持管理費	事業3	001	鶴巻排水機場維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 鶴巻排水機場の維持管理費
- ・目 的 鶴巻排水機場吐口施設の撤去を進め、地域の活動拠点として活用していくもの
- ・SDGs 12 つくる責任使う責任

(2) 効果・目標値

- ・効 果 鶴巻排水機場の維持管理を行いながら、地域の活動拠点等として活用していくための跡地整備を進めるもの
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 18,084千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 18,738千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 28,200千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 鶴巻排水機場除塵機撤去及び遊水地埋立て工事の実施
- ・令和6年度 鶴巻排水機場建屋改修工事の実施

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

地域の拠点形成や活性化を図ることを目的に作成された「秦野市鶴巻排水機場利活用方針」に基づき計画的に跡地整備を進めるとともに整備後の運営や維持管理についての方向性を決める必要がある。

5 令和7年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

鶴巻排水機場利活用方針に基づき広場の整備を実施

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	040	鶴巻排水機場維持管理費	事業3	001	鶴巻排水機場維持管理費

鶴巻排水機場利活用方針策定時より、トイレの設置費用が物価高騰及び経費が増加したことにより、工事請負費が増額及び令和7年度に日頃からの跡地広場供用開始に伴い、光熱水費や保険料などの維持管理経費が増加したものの。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
令和7年度に供用開始に向けて、トイレ設置工事及び広場整備工事を完成させるとともに、地元自治会と連携して、運営、維持管理を行っていく。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組  
該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
該当なし
- (3) 自然災害対策への取組  
該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
該当なし



令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	050	農地事務費	事業3	001	農地事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 農地や農業用施設に係る庶務の事項への対応のほか、関係団体への負担金の支出を行う。
- ・目 的 農業者及び関係団体と連携し、農地及び農業用施設の整備促進を図る。
- ・SDGs 2 飢餓をゼロに  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 関係団体との連携による技術的な指導及びその他援助のほか、各種研修や情報共有の機会が確保される。
- ・目 標 値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 3,100千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 3,855千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 4,046千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 団体連合会本部及び支部負担金、会計年度任用職員賃金、積算システム賃貸借等
- ・令和6年度 令和5年度の取組を継続して実施した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

現在、土地改良に関する相談が複数あることから、団体との連携の重要性が高まっている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

農地及び農業用施設に係る事務の適切な推進

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0140400000	農業振興課	会計	01	一般会計
款	05	農林費	項	01	農業費
目	05	農地費	事業1	056	01050105
事業2	050	農地事務費	事業3	001	農地事務費

会計年度任用職員の最低賃金の増加及び勤勉手当支給の追加による報酬等の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

土地改良事業団体連合会には、専門的技術の向上と効率的な事業の推進を図るうえで、必要な情報提供など、欠かせない役割があることから、団体連合会が企画する事業活動には積極的に参加し、その実益を実践的に反映させていくもの

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(3) 自然災害対策への取組

該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし